

マイクロチャンバーを用いた 材料のアウトガス測定

マイクロチャンバーを用いたアウトガス測定

自動車内装材に限らず様々な工業製品、工業材料等から揮発性有機化合物 (VOC) が放散されています。それらの室内空間への放散のみならず、放散成分の他の部品への付着による不具合などを見積もるために材料からのVOCの放散試験が行われます。

VOCは温度が高いほど放散されやすくなることから材料の使用環境条件等に合わせて加熱して試験を実施します。低温(～約80℃)であれば樹脂バック等を使用することができます (JASO M902等)。

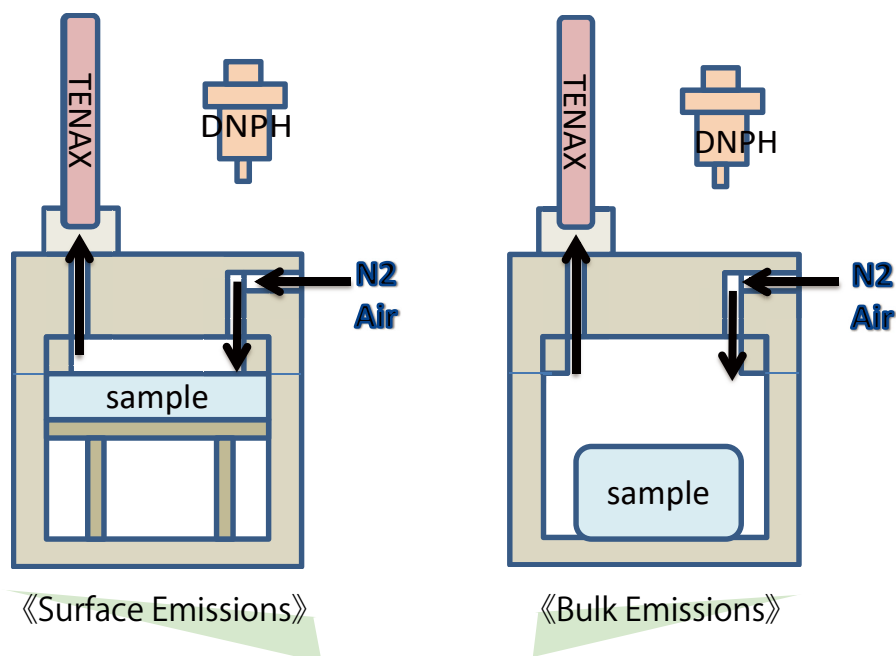
より高温の条件下については、加熱脱着装置で直接加熱する方法 (VDA278等) がありますが、試料量が少ない、雰囲気ガスが不活性ガス (通常He) などの制限があります。

マイクロチャンバー (Markes M-CTE250) では試料量を多くできるとともに、250℃までの加熱が可能です。

また、雰囲気ガスも温度条件によっては空気や加湿空気を用いることができます。

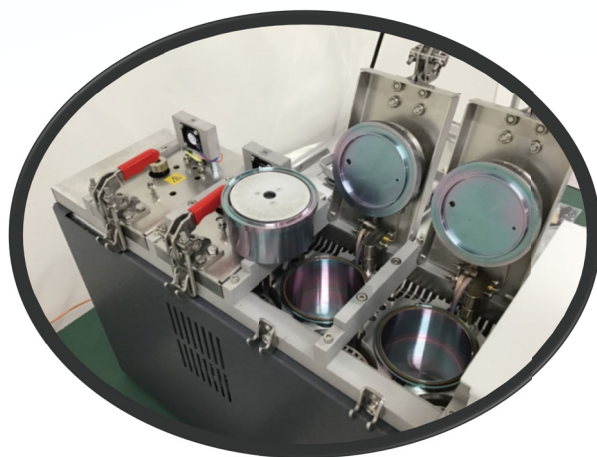
マイクロチャンバー概略

マイクロチャンバーの (Markes M-CTE250) では、試料全体からの放散試験以外に表面放散試験にも対応します (ISO12219-3 2012対応)。



Markes社 M-CTE250
深さ 36mm、内径64mm (内容積114cm³)

アウトガス評価



マイクロチャンバー
M-CTE250



TDU-GC/MS/FPD
(におい嗅ぎGC/MSシステム)



TDS-GC/MS



ATD-GC/MS



HPLC

目的によって装置を変えて測定が可能。
シックハウス対象成分(ホルムアルデヒド、
アセトアルデヒド、トルエン等)の定量や
ライブラリ検索、所有している標準物質による
定性分析に対応



TTC 一般財団法人 東海技術センター

《ハイパーラボ 品質評価事業部》

〒489-0977 愛知県瀬戸市坂上町420番地1

Tel 0561-85-0384 Fax 0561-56-1590

hinshitsu@zttc.or.jp <http://www.ttc-web.com>